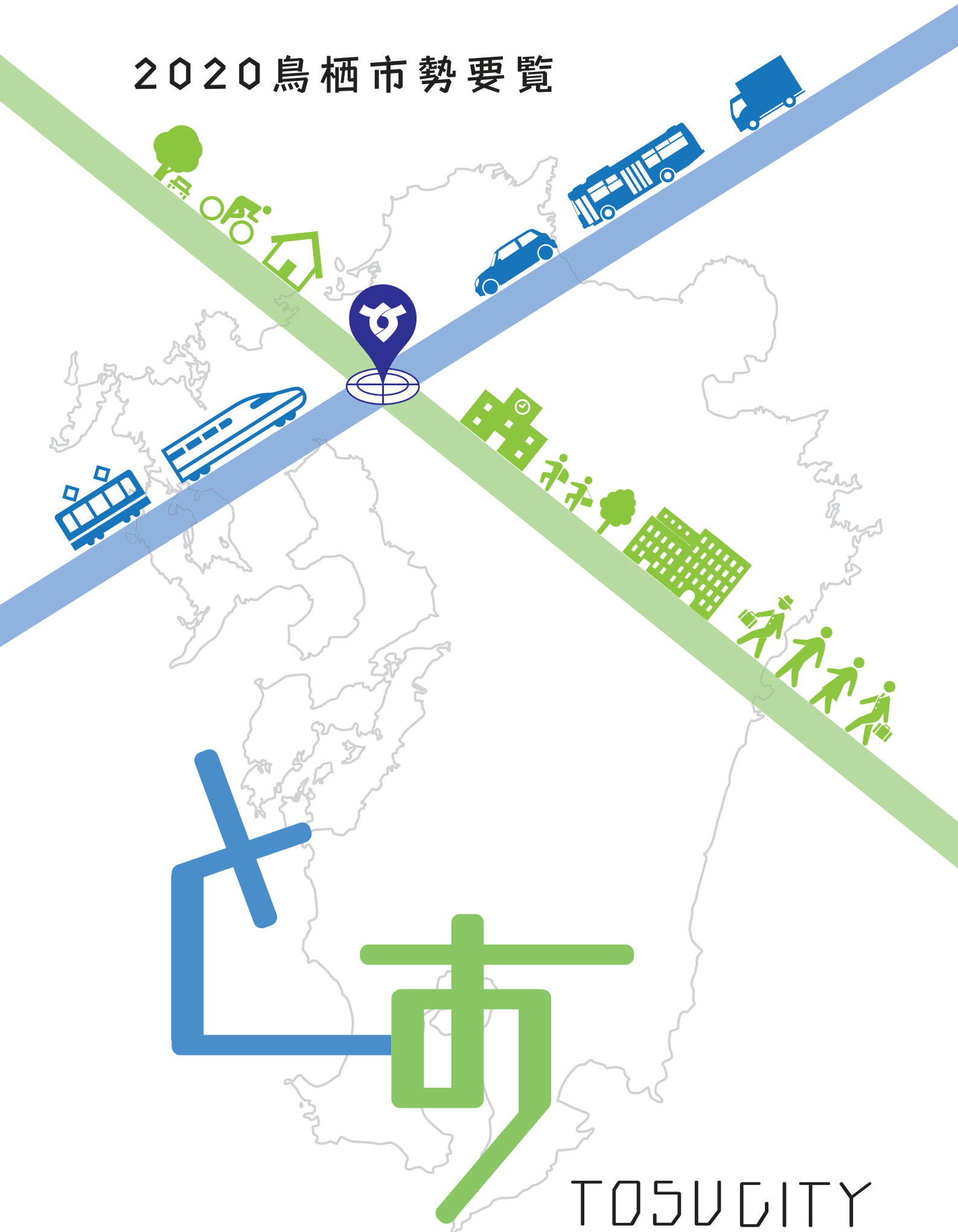


# 2020鳥栖市勢要覽



ト  
市

TOSU CITY

# This is TOSU

—鳥栖市はこんな街です—

 **人口** [令和2年1月推計人口]

74,597人



男性 35,775人  
女性 38,822人

昭和29年4月の市制施行時(40,176人)から増加し続けており、今後も増加が見込まれます

※推計人口とは…直近の国勢調査時の確定人口を基に、その後の人口増減(出生・死亡・転入・転出)を加減して算出した人口

 **人口密度** [令和2年1月推計人口]

1,040.1人/km<sup>2</sup>



県内トップの人口密度を誇るコンパクトにまとまった街です

 **昼夜間人口比率**

[平成27年国勢調査]

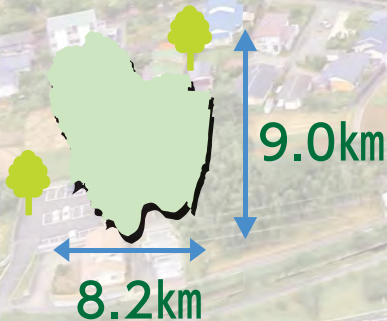
111.4%



市内には企業などが多く立地しており、昼間には多くの人々が鳥栖に集まっています

 **面積**

71.72km<sup>2</sup>



県内の10市で一番小さい面積ですが都市の利便性と豊かな自然がそろっています

 **住民の外国人割合**

[令和2年1月]

1.83%



県内トップの割合。多くの外国人が市内で働いたり、日本語学校に通うなどして暮らしています

## 転入者が鳥栖を選んだ理由

[平成30年度鳥栖市転入者アンケート]

- 1位 仕事・通学の都合上
- 2位 通勤・通学が便利
- 3位 気に入った物件があった
- 4位 住環境が良い



通勤の利便性などが重要視されていますが、住環境など暮らしの面でも一定の評価を得ています

## 鳥栖からの通勤が多い自治体

[平成27年国勢調査]

- 1位 福岡県久留米市
- 2位 福岡県福岡市
- 3位 佐賀県佐賀市
- 4位 佐賀県基山町



福岡県の自治体が上位になっており、県の枠を超えた結びつきも強くなっています

## 市内6駅乗車人員

[平成30年度] 資料:九州旅客鉄道株



市内には6つの駅があり、多くの市民が通勤・通学に電車を利用しています

鳥栖駅 7,162人/日  
(JR鹿児島本線・長崎本線)

肥前旭駅 713人/日  
(JR鹿児島本線)

新鳥栖駅 1,653人/日  
(九州新幹線・JR長崎本線)

肥前麓駅 560人/日  
(JR長崎本線)

弥生が丘駅 1,180人/日  
(JR鹿児島本線)

田代駅 547人/日  
(JR鹿児島本線)

## 製造品出荷額等

[平成29年] 資料:平成30年度工業統計調査



3,437億4,995万円

多くの企業や工場が立地しており、県内トップの製造品出荷額を誇ります。

## 鳥栖インターチェンジ利用状況

[平成29年度] 資料:西日本高速道路株

1日当たりの利用台数 25,569台

九州内の高速道路網におけるクロスロードとして多くの車が入り出します





鳥栖市長 橋本 康志

## ごあいさつ

鳥栖市は、九州の主要都市に通じる高速道路や鉄道が交わる交通の要衝という特性を生かして、内陸工業・流通拠点都市として発展してまいりました。

さらに近年では、九州新幹線鹿児島ルート新鳥栖駅や九州国際重粒子線がん治療センターの開業など、九州をけん引する地域として発展の可能性がますます高まっています。

また、鳥栖市をホームタウンとするサッカーJリーグ・サガン鳥栖とバレーボールVリーグ・久光製薬スプリングスは国内最高峰の舞台で活躍しており、市内に活気を与え続けています。

本市は、多くの皆様に「鳥栖に住んでみたい」「鳥栖に住み続けたい」と思っただけのまちの実現に向けた施策を今後とも展開してまいります。

この市勢要覧を通じて、鳥栖市の魅力をご理解いただければ幸いです。

---

## contents 【目次】

01 This is TOSU -鳥栖市はこんな街です-	15 思いを馳せる
03 ごあいさつ	17 自然と調和する
04 What's TOSU? -鳥栖市の概要-	19 お祭り・イベント年間ガイド
05 交通の要衝	21 TOSU Map
07 活発な商工業	23 鳥栖市の観光地・主要施設一覧
09 最先端の技術	25 データでみる鳥栖
11 充実した暮らし	27 鳥栖市のあゆみ
13 笑顔ひろがる	29 行政・議会
	30 移住者に聞いた!鳥栖市の魅力

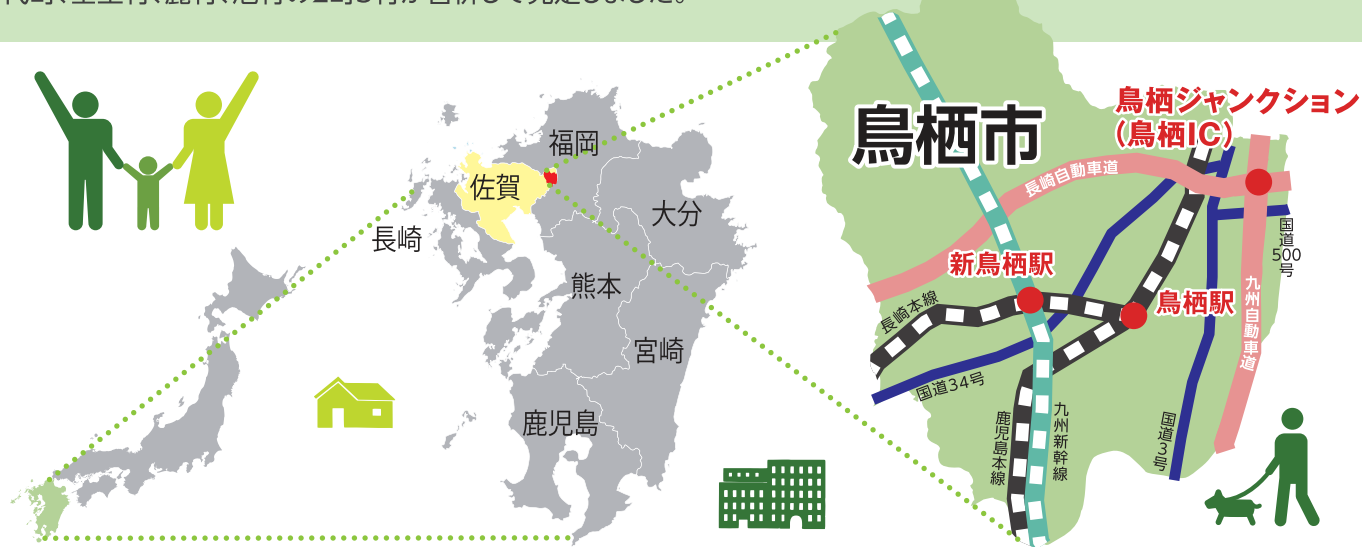
# What's TOSU?

## 鳥栖市の概要



### 沿革・地勢

佐賀県の東端に位置し、北は背振山地を隔てて福岡平野、南は筑後川を挟んで久留米市に隣接しています。昭和29年4月に鳥栖町、田代町、基里村、麓村、旭村の2町3村が合併して発足しました。



昭和29年4月、市制施行にあたり全国からの公募で制定。「と」と「す」を組み合わせて、市民の団結と融和を表しています。



昭和59年4月、市民投票で制定。水辺に栽培される日本独自の園芸植物。色や形が豊富で初夏に大型の花を咲かせます。



昭和48年4月、市民投票で制定。佐賀地方でモチノキと呼ばれており、雌木には秋から冬にかけて多数の赤い実がなります。



平成6年5月、市民投票で制定。スズメより小さく、低い山地や平地の林などに生息し、昔から市民に親しまれています。

### 「鳥栖」という地名の由来

鳥栖という地名は、「鳥の栖」という意味です。奈良時代に書かれた「肥前風土記」によると、この地域に住む人々が鳥小屋を作り、さまざまな鳥を捕まえて飼いならし、朝廷に献上したことから「鳥屋の郷」や「鳥櫓(巣)郷」と呼ばれ、後に「鳥栖」という地名になったと伝えられています。

### 市イメージキャラクター「とっとちゃん」



市の鳥「メジロ」をモチーフにした親しみやすい姿は、市民の皆さんからかわいがられています。名前は方言の「とっとと(とっているの意)」と「とり」からの連想が由来です。

# 交通の 要衝

Crossroad  
in  
kyushu



通勤も  
レジャーも  
どこへ行くにも  
アクセス抜群です。



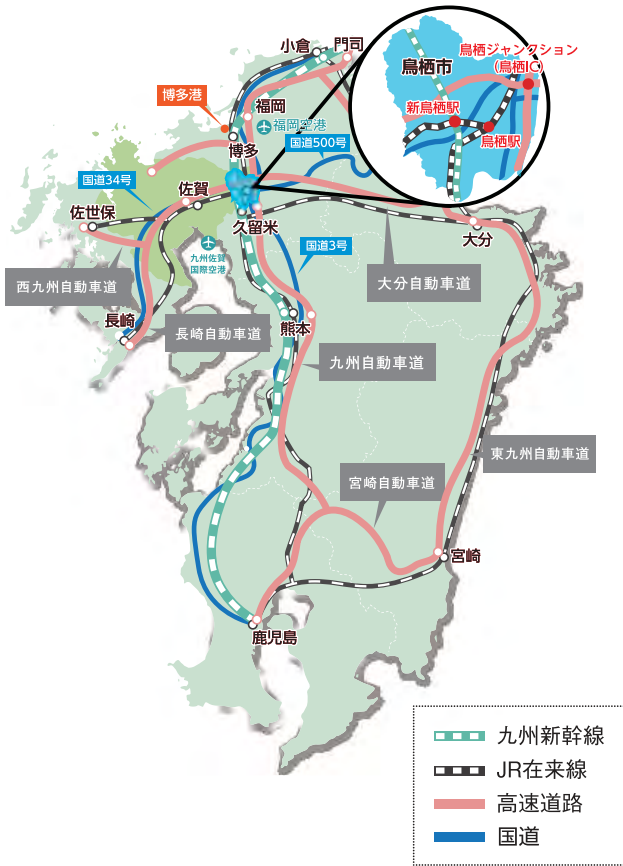
## 鉄道と高速道路が交差する 九州No.1の交通アクセス

九州陸路交通の要衝としての立地特性を持つ鳥栖市。昭和48年に国内で初めて建設された四つ葉のクローバー型のジャンクションや明治22年開業のJR鳥栖駅など、古くから鳥栖は交通とともにありました。

# 抜群の交通アクセス、九州各地が身近に。

九州における交通の要衝として発展してきた鳥栖市。

市内には「鳥栖ジャンクション（高速道路）」「鳥栖駅（鉄道）」「新鳥栖駅（新幹線）」などの交通結節点があり、さまざまな地域へ抜群の交通アクセスを誇ります。



## ■高速道路が交差

鳥栖ジャンクションは、九州を南北に走る九州自動車道と東西に走る長崎自動車道・大分自動車道が交差。

## ■鉄道の分岐点

JR鳥栖駅は、鹿児島本線と長崎本線の分岐点。JR新鳥栖駅は、九州新幹線への乗換駅であり、新大阪駅直通の山陽新幹線も発着。隣接する大規模なパーク&ライド駐車場は、車と鉄道の交通結節点。

## ■国道の分岐点

北九州と鹿児島を結ぶ国道3号、長崎へ続く国道34号、大分へ続く国道500号が市内で分岐。

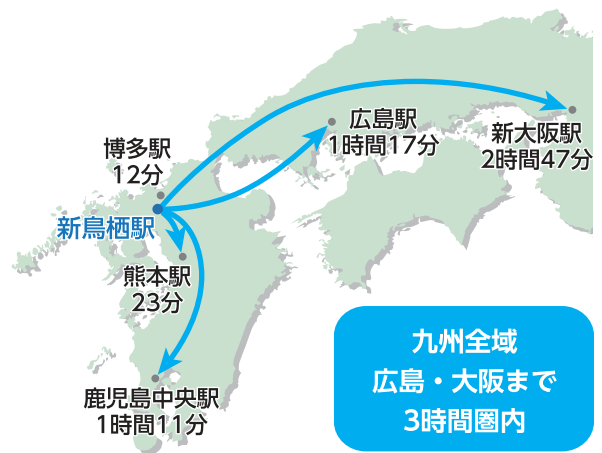
## ■世界が身近に

国際便が発着する空港へのアクセスも良く、ビジネスや観光にも便利な環境です。  
福岡空港・・・27分（高速道路利用）  
九州佐賀国際空港・・・50分（高速道路利用）

高速道路を使用した場合の所要時間(目安)



新幹線を利用した場合の所要時間(目安)



# 活発な 商工業

Active business  
and  
industry



グリーン・ロジスティクス・パーク鳥栖トラック待機場

いろいろな企業が  
集まっているから、  
就業の選択肢も  
増えます。



産業団地(鳥栖北部丘陵新都市)



昭和46(1971)年ごろの轟木工業団地

## 古くから活発な商工業 生産・物流の拠点として発展

江戸時代に長崎街道が整備されたことで「人・もの・情報」が鳥栖地域に集結。配置売薬などが発達し、商工業発展の礎が築られました。現代は、産業団地の造成などにより多数の企業が立地しており、今も昔も商工業が活発です。



# 多くの企業が集まるワケが、このまちにはあります。

九州各地へのスムーズなアクセスが可能な鳥栖市には多くの企業が立地しています。その背景には、抜群の交通アクセスのほか、豊富な水資源と労働力があります。

## ■豊富な工業用水の安定供給が可能

九州一の大河・筑後川水系の宝満川からの取水により、水資源が豊富です。上水道は給水を開始した昭和42年以降、給水制限をかけたことはありません。

佐賀県東部工業用水道		上水道	
給水地域	佐賀県東部	水利権	40,500 (m <sup>3</sup> /日)
給水能力	60,000 (m <sup>3</sup> /日)	ダム取水権	12,000 (m <sup>3</sup> /日)
給水余力	27,574 (m <sup>3</sup> /日)	給水能力	40,100 (m <sup>3</sup> /日)
		給水余力	16,600 (m <sup>3</sup> /日)

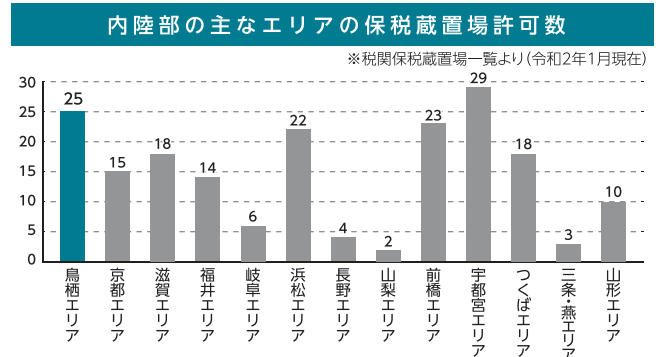
## ■労働力人口の充実

鳥栖市の人口は、市制施行以来、着実に増加しており、今後も人口増加が続くことが予測されています。また、福岡都市圏や久留米都市圏に隣接し、交通アクセスが優れているため、豊富な人材を確保できます。



## ■外国貿易も視野に

交通利便性に優れた鳥栖市は、外国貿易の拠点である博多港まで約30分でアクセス可能です。また、鳥栖市を含む長崎税関久留米出張所管轄内には、輸出入貨物の流通効率化が図れる「インランド・デポ(内陸保税蔵置場)」が25カ所あり、内陸部では国内トップクラスの数を誇ります。



## ■鳥栖市の産業団地位置図



- ① 轟木工業団地(分譲時期:昭和38年~昭和44年)  
市内初の工業団地。主に製造業が立地。
- ② 鳥栖商工団地(分譲時期:昭和53年~平成元年)  
製造業、倉庫業、卸売業など100社以上が立地。
- ③ 鳥栖西部工業団地(分譲時期:昭和63年~平成2年)  
先端技術導入の受け皿として造成。製造業が立地。
- ④ 鳥栖北部丘陵新都市(分譲時期:平成9年~)  
製造業、運輸業のほか、大型商業施設、研究施設が立地。
- ⑤ グリーン・ロジスティクス・パーク鳥栖(分譲時期:平成18年~平成25年)  
九州の物流拠点として流通関連企業が立地。
- ⑥ 鳥栖西部第二工業用地(分譲時期:平成23年~令和元年)  
市初の単独整備。製造業が立地。

最先端の  
技術

Cutting-  
edge  
technology



九州国際重粒子線がん治療センター 治療室

先を見据えた  
施設が多く  
新たな学びが  
生まれます。



産業技術総合研究所九州センター(一般公開時)



九州シンクロtron光研究センター(一般公開時)

## 最先端技術の活用・研究を 行う医療・研究施設が立地

鳥栖市には最先端技術の活用・研究を行う3つの施設があり、各機関と市は、學術の振興と地域社会への貢献を目的として「4者の包括的な連携・協力に関する覚書」を締結しています。

# 明るい未来がココから始まる、 最先端の技術が身近にあるまち。

鳥栖市にある3つの医療・研究施設では、日々治療や研究が進められており、その成果は、医学や材料科学、超微細加工など幅広い分野に応用が可能です。また、各施設では毎年、施設の一般公開を開催。最先端機器の見学や実験体験などを通して、未来を担う子どもたちの科学への興味関心の向上にも貢献しています。



## 国立研究開発法人 産業技術総合研究所(産総研)九州センター

昭和39(1964)年開設。当時の名称は「通商産業省工業技術院九州工業技術試験所」。

日本の産業や社会に役立つ技術の創出を目指す公的研究機関で、企業の製造現場における生産技術の高度化や維持管理の効率化および安全な社会を実現するために、新たなセンシング技術やセンサーネットワーク技術などの研究開発を進めています。



## 佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター (愛称:SAGA-LS)

平成18(2006)年開設。

九州唯一のシンクロトロン光を利用する産学官の研究開発拠点。産学官共同研究や各種研究支援などにより、地域産業の研究開発や新製品・新技術開発に向けた取り組みを促進し、成果を新産業の創出や地域産業の高度化に生かすことを目的としています。



## 九州国際重粒子線がん治療センター (愛称:サガハイマツト)

平成25(2013)年開設。

九州初となる重粒子線によるがん治療施設。手術をせずにがんの治療ができるため、患者に負担が少ないやさしい治療法であり、がん治療の選択肢を広げる最先端の医療施設です。また、重粒子線がん治療の臨床研究も行われています。

充実した  
暮らし

Fulfilling  
life



駅前不動産スタジアム

プロスポーツや  
多彩なイベントがあり  
多くの人で  
にぎわっています。



©S.D.CO.,LTD.

サガン鳥栖(サッカー・Jリーグ)



久光製薬スプリングス(バレーボール・Vリーグ)

## 2つのプロスポーツチームや 大型商業施設が身近に

鳥栖市を本拠地とするサガン鳥栖(サッカー・Jリーグ)と久光製薬スプリングス(バレーボール・Vリーグ)があり、国内最高峰のプロスポーツを身近に感じることができます。また、年間575万人が訪れる鳥栖プレミアム・アウトレットがあり、多くの人でにぎわっています。

# 住む人、来る人 みんなが笑顔になれるまち。

国内最高峰の舞台で活躍する2つのプロスポーツチームや大型商業施設があることから鳥栖市にはたくさんの方が集まります。

その他にも魅力的なイベントが開催されており、このまちはいつも活気があふれています。



## 鳥栖プレミアム・アウトレット

国内外のブランド約170店舗が集まった九州最大のアウトレットショッピングセンター。リゾート気分の中で一日中ショッピングを楽しむため九州内外から多くの方が訪れます。



## 鳥栖市ロードレース大会

毎年1月に開催され、実力派ランナーから市民ランナーまで1,000人以上が集まる大会。高校生10kmの種目は日本陸連の公認コースでもあり、全国高校駅伝出場選手も多数参加します。



## まつり鳥栖

毎年7月の最終日曜日に開催。鳥栖駅前の商店街一帯が歩行者天国となり、パレードや市民総踊りなどさまざまなイベントが行われます。屋台も多く出店し、年齢問わず多くの方が集まります。



## ハートライトフェスタ

毎年11月下旬から12月下旬にかけて開催され、鳥栖の冬の風物詩として定着しています。期間中は市内外から10万人以上が来場し、屋台も多数出店。鳥栖の冬を盛り上げています。

笑顔  
ひろがる

Smiles  
spreads  
to people



人とのふれあい  
みんなの笑顔が  
くらしの安らぎに  
なります。



共に認め合い、支え合う、  
温かみと安心感のあるまち

子ども、お年寄り、障害のある人の見守り  
や子育てを、地域の人が協力して行いな  
がら、市民、地域、行政と一緒にまちづく  
りを進めることで、安全で安心に暮らし  
続けられるまちを目指しています。



# みんなが健やかに、 笑顔で暮らせるまち。

安心して楽しく子育てができる環境を整え、親子が健やかに成長できるように子育て支援の充実を図っています。また、市民の主体的な健康づくりを推進しながら、安心して医療が受けられる体制づくりを進めています。さらに、日本人と外国人の区別なく誰もが同じ地域の住民として暮らしやすいまちを目指しています。



## 無料のがん検診（集団検診）

集団での特定健康診査、がん検診を実施しています。集団がん検診は無料で受診可能で、特定健診との同時開催に取り組んでおり、病気の早期発見や生活習慣の見直しにつながっています。



## うらら健康マイレージクラブ

市民の毎日の健康づくりを応援するための取り組み。生活習慣の改善や健診を受けることで、ポイントを貯めることができ、ポイントに応じて賞品と交換したり地域貢献に活用できます。



## 多文化共生のまちづくり

日本人と外国人が交流し、互いの文化や風習を理解し合う「こくさいカフェ」や外国人が日々の生活に必要な日本語や生活のルールなどを学ぶ「とりんす」などを開催し、外国人も暮らしやすいまちを目指しています。



## 高齢者見守り事業

住み慣れた地域で安心して生活できるよう、一人暮らしの高齢者などに対し近隣住民たちが協力して定期的に声かけなどを行っています。また、協力事業者も募り、見守り強化を図っています。

思いを  
馳せる

Makes  
me  
imagine



あおしま  
おんだまい  
四阿屋神社の御田舞

古いものも  
新しいものも、  
大切に育む土壌が  
あります。



曾根崎の獅子舞



宿の鉦浮立

伝統的な民俗芸能など  
鳥栖ならではの文化があります

一年を通じてさまざまな民俗芸能や祭りが行  
われています。どの行事も地域に根付き、地域  
に愛されながら次の世代に伝承されています。  
また、新たな住民が増えている鳥栖市では、こ  
れらの伝統行事が住民同士の交流を深める機  
会にもなっています。



# 伝統・異文化に思いを馳せ、次代につなぐ。

将来の鳥栖市を担う子どもたちが、日本の言語や文化に親しむとともに、伝統や異文化に触れることで、子どもたちの持つ限りない可能性を引き出すため、さまざまな事業に取り組んでいます。



## 教科「日本語」の取り組み

豊かな日本語を身に付け、鳥栖市を愛し、次世代を担う子どもの育成を目的とし、日本の言語や文化、礼儀作法を学びます。鳥栖市独自で作成した教科書を使用します。



## 鳥栖・ツァイツ子ども交流事業

友好交流都市のドイツ国ツァイツ市と鳥栖市の学生が、互いの国にホームステイをしながら異文化を体験し、平和学習や国際的な視野を広げることを目的としています。



## キッズミュージカルTOSU

市制50周年を記念し、市民の手によって誕生したミュージカル劇団。ミュージカルを通じた子どもたちの健全育成と地域からの質の高い文化発信を目的とし、市内の小中学生が公演します。



## 鳥栖やまびこ対馬研修団

江戸時代に鳥栖市の東半分が対馬藩の飛び地だった歴史的つながりから、市内の小中学生が長崎県対馬市を訪問し、両市の歴史的関係を学び、自然体験や平和学習を行います。

自然と  
調和する

Harmony  
with  
nature



河内ダム

まちの近くに  
すてきな自然が  
たくさんあって  
癒されます。



あずまや  
四阿屋遊泳場



田代公園

## 水と緑に恵まれた 四季を感じる自然豊かなまち

市街地の近くに豊かな自然があるのが鳥栖市の  
特徴です。水と緑に恵まれており、市内には  
ダムや河川プール、桜や紅葉の名所など豊か  
な自然がたくさんあります。まちから少し足  
を延ばせば、四季折々の自然を身近に感じる  
ことができます。

# 自然の恵みが、 豊かなところを育む。

鳥栖市は交通の要衝としての利便性があると同時に、豊かな自然に囲まれた地域です。  
見晴らしのいい景色やきれいな溪流などリフレッシュできるスポットが身近にたくさんあります。  
春は桜、夏は河川プール・遊泳場、秋は紅葉、冬は雪景色など、四季の移り変わりを肌で感じることができます。



## コカ・コーラ ボトラーズジャパン鳥栖市民の森

鳥栖市北西部の自然豊かな地域にある、気軽に森の散策を楽しめるスポット。遊歩道が整備されており、さまざまな植物を見ることができます。新緑や紅葉の時期には、多くの人でにぎわいます。



## すみか とりごえ温泉 栖の宿

河内ダムの湖畔にたたずむロッジ風の施設。宿泊や日帰り温泉入浴、テニスコート、ミニキャンプ場、ふれあい農園を利用でき、宿からは大自然のパノラマを一望できます。



## 河川プール・遊泳場

市内には河内河川プール、沼川河川プールと四阿屋遊泳場があります。溪流と豊かな緑に囲まれた絶好の避暑地で、夏休みには多くの家族連れが訪れます。



## おちょうず 御手洗の滝

くせんぶ  
九千部山山麓に位置する高さ22m、幅6mの滝で、木々の間から落ちる水しぶきが涼をさそいます。滝の近くには常設テントや炊飯棟を完備したキャンプ場があります。

# Festival & Event Guide



鳥栖のまちを彩る伝統的な祭りやにぎやかなイベントを紹介します。

## 春 Spring



- 3月 ● とす弥生まつり①
- 曾根崎の獅子舞
- 田代公園の桜ライトアップ②
- 4月 ● 牛原の獅子舞③
- 神辺の獅子舞④ (3年に1度)
- 宿の鉦浮立

春の農産品



**アスパラガス**  
佐賀県産のアスパラガスは高品質で、鳥栖市を含む県東部地区は県内有数の産地です。



**タマネギ**  
佐賀県は全国2位の収穫量を誇り、鳥栖市内でも約16haの畑で栽培されています。



## 夏 Summer



- 7月 ● 鳥栖山笠⑤
- まつり鳥栖⑥
- 市民プール・  
あびまや 四阿屋遊泳場・  
河川プール(河内・沼川)⑦
- 8月 ● 筑後川花火大会⑧ (鳥栖会場)

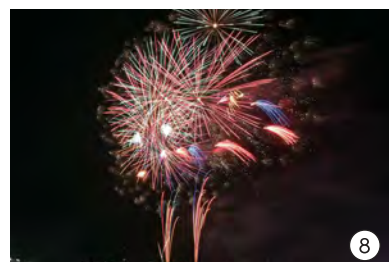
夏の農産品



**ジャガイモ**  
ポテトチップスに使用される「トヨシロ」という品種が市内で多く栽培されています。



**ニガウリ**  
沖縄の特産品として有名ですが、鳥栖市内でも約20年前から栽培、出荷されています。



# 秋

Autumn



9



10



11



12



13

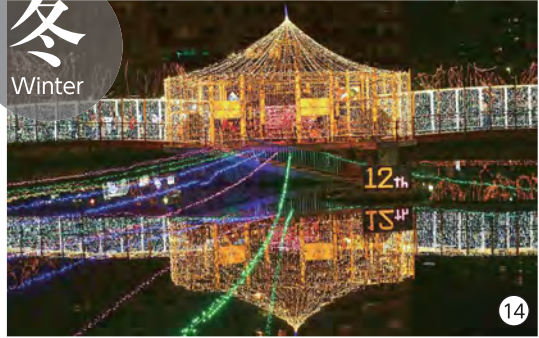
## 秋の農産品



米  
佐賀県独自の銘柄「さがびより」「ヒノヒカリ」「夢しずく」が市内で主に生産されています。また、日本酒の原料となる「酒米」や古代米の「黒米」など、さまざまな品種の米が栽培されています。

# 冬

Winter



14



15



16



17



18

## 12月

- ハートライトフェスタ<sup>14</sup>

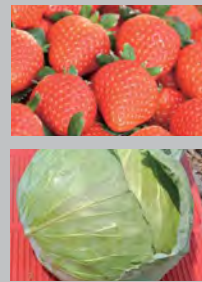
## 1月

- 消防出初式<sup>15</sup>
- 成人式<sup>16</sup>
- 鳥栖市ロードレース大会<sup>17</sup>

## 2月

- 県内一周駅伝<sup>18</sup>

## 冬の農産品



イチゴ  
佐賀県は全国有数のイチゴの産地。県独自の銘柄「いちごさん」が主に栽培されています。

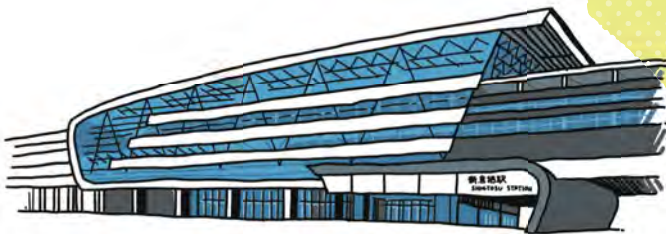
キャベツ  
冬は「冬勝利」という品種が多く栽培され、濃い色で強い甘みの特徴です。

# TOSU MAP



## あずまや 四阿屋遊泳場

牛原町に流れる河内川の四阿屋神社境内付近を「四阿屋」といい、その境内に流れる溪流はまさに天然のプール。夏休み期間中は遊泳場になり、絶好の避暑地として人気があります。



## 新鳥栖駅

在来線と新幹線の乗換駅であり、鳥栖インターチェンジまで車で約10分の場所に位置。新しい時代の陸路交通における「九州の玄関口」としての役割を担っています。



## 朝日山公園

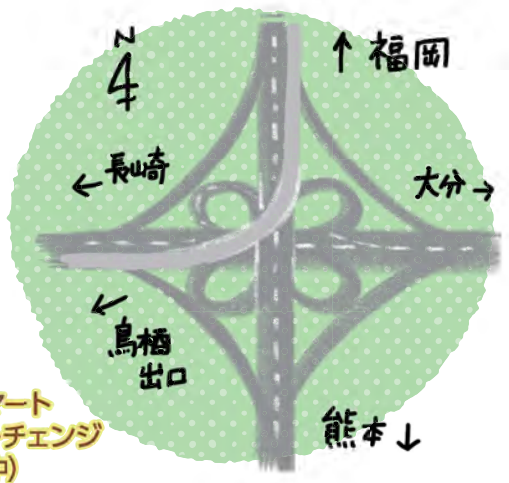
標高132.9mの丘にある公園で、山頂の展望台からは鳥栖市内だけでなく佐賀平野東部までが一望できます。桜の名所としても有名。





## 鳥栖プレミアム・アウトレット

国内外のブランド約170店舗が集まったアウトレットショッピングセンター。非日常を感じながら手頃な価格で買い物できるのが魅力です。



## 鳥栖ジャンクション

九州の南北を走る九州自動車道と東西を走る長崎自動車道・大分自動車道が交差します。



## 駅前不動産スタジアム

サガン鳥栖のホームスタジアム。約25,000人収容、フィールドは12,000m<sup>2</sup>の天然芝のスポーツ競技場です。

- …保育所、幼稚園 (幼保連携型を含む) 25カ所
- …小学校8校
- …中学校5校

# 鳥栖市の 観光地・ 主要施設 一覧



## 田代公園

ソメイヨシノが咲き乱れる桜の名所。ライトアップも楽しめます。



## あずまや 四阿屋遊泳場

渓流と森林に囲まれた絶好の避暑地。夏休みは多くの人を訪れます。

## 自然 公園



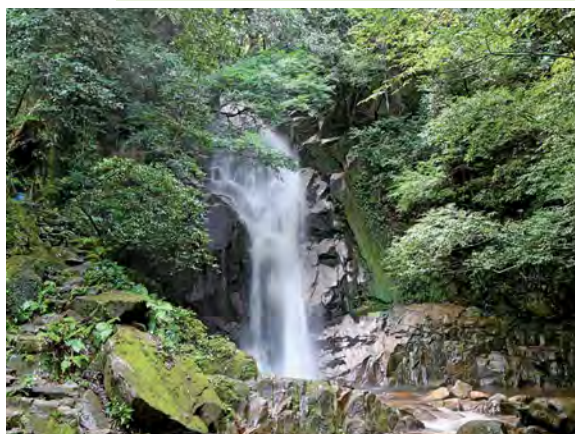
## コカ・コーラ ボトラーズ ジャパン鳥栖市民の森

河内ダムの湖畔にあり、四季折々の景色が楽しめます。



## 朝日山公園

山頂の展望台からは鳥栖市内が一望でき、春には桜の名所として多くの人でにぎわいます。



## おちょうず 御手洗の滝

修験者が立ち寄り、手を洗って身を清めたことが由来。夏休みにはキャンプ場を開設します。



## 鳥栖プレミアム・アウトレット

国内外のブランド約170店舗が集まったショッピングセンター。観光客など多くの人でにぎわいます。



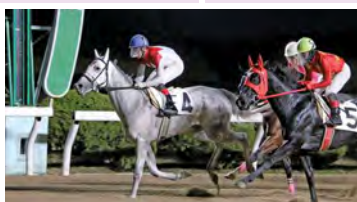
## 中富記念くすり博物館

「田代売薬」など世界と日本の薬の文化を学べます。



## 河内河川プール

自然石を生かし、直接川の水を引き込んだプールです。



## 佐賀競馬場

九州唯一の地方競馬。白熱したレースが展開されます。

## 観光 レジャー



## すみか とりごえ温泉 栖の宿

ダムの湖畔にある、ロッジ風の温泉付宿泊施設。





## スポーツ

### 駅前不動産スタジアム

約25,000人収容の3階建て競技場。Jリーグ・サガン鳥栖のホームスタジアムとして使われています。

### 鳥栖市民体育館

648の観客席を備えた2階建てで、室内スポーツ全般が可能。



### 鳥栖市民球場

天然芝の外野やスコアボード、バックスクリーンを備えた本格的な野球場です。



### 鳥栖市民プール

50mプールのほか、レジャープールやウォータースライダーなどがあります。



### 鳥栖市陸上競技場

日本陸上競技連盟4種公認の競技場。フィールド内は全面天然芝が張られています。



### 鳥栖市民文化会館

約1,500人収容の大ホールのほか、小ホールなどを備えた文化施設。式典やコンサートで利用されます。



### かつのおじょうちくし 勝尾城筑紫氏遺跡

国史跡に指定の城址。鳥栖を本拠に筑前、筑後、肥前で勢力をふるった筑紫氏の本城跡です。



### 268号機関車

鉄道のまちとして発展してきた鳥栖の象徴的な遺産。鳥栖駅東に設置。

## 歴史・文化



### サンメッセ鳥栖

ホールや会議室を備えた施設。文化交流や憩いの場としても利用されます。



### フッペルのピアノ

映画「月光の夏」のモデルとなったピアノ。平和のシンボルとしてサンメッセ鳥栖に設置。



### 鳥栖市立図書館

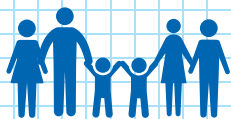
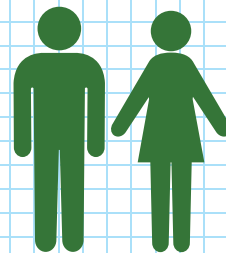
約20万冊を所蔵し、視聴覚室や展示ルームも備えています。生涯学習の場として利用されています。

データで  
みる  
鳥栖市

人口 (令和2年1月推計人口)

74,597 人

男性 35,775人 女性 38,822人



世帯数

29,956 世帯

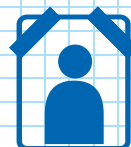
(令和2年1月推計人口)



出生

1日に 1.7 人

(平成31年)



死亡

1日に 1.8 人

(平成31年)



転入

1日に 11.2 人

(平成31年)



転出

1日に 10.0 人

(平成31年)



自動車

1世帯に 1.8 台

(平成30年度)



救急出動

1日に 8.6 件

(平成31年)



世帯人員

1世帯に 2.5 人

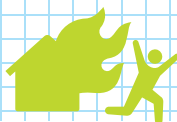
(令和2年1月推計人口)



交通事故

1日に 1.2 件

(平成31年)



火災

1月に 1.7 件

(平成31年)



犯罪

1日に 1.0 件

(平成31年)





## 鳥栖市の財政

一般会計歳入予算(令和元年度)

一般会計歳入予算総額

265億5,645万円

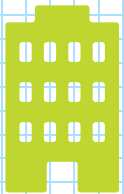
- 市税 48.5%
- 使用料および手数料ほか 12.4%
- ★国・県支出金 24.0%
- ★地方交付税 2.8%
- ★市債 5.1%
- ★その他 7.2%
- 自主財源/60.9% ★依存財源/39.1%

一般会計歳出予算(令和元年度)

一般会計歳出(目的別)予算総額

265億5,645万円

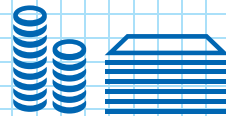
- 総務費 13.7%
- 民生費 40.4%
- 衛生費 8.9%
- 農林水産業費 1.4%
- 土木費 8.9%
- 教育費 11.4%
- 公債費 6.8%
- その他 8.5% (令和元年9月30日現在)



市税  
1人当たり年間

91,515円

(令和元年度)



市の予算  
市民1人当たり年間

360,415円

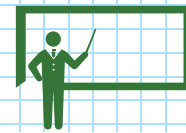
(令和元年度)



市民所得  
市民1人当たり年間

3,277,316円

(平成28年度市民所得推計)



教員数

小学校 児童 15.2人に1人

中学校 生徒 13.6人に1人

(平成31年)

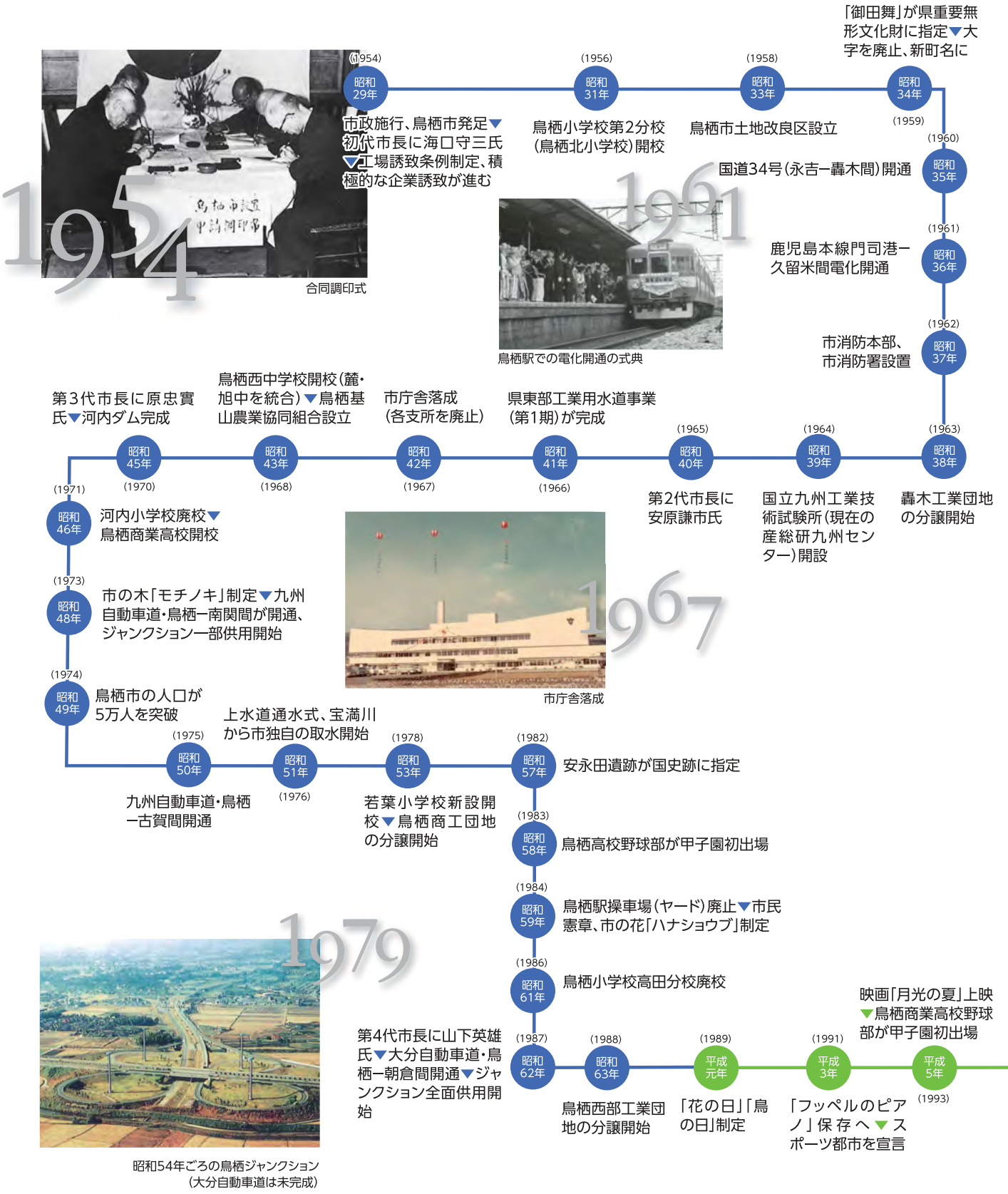


市内の保育所・幼稚園・学校数 (平成30年学校基本調査)

保育所	幼稚園 (認定こども園を含む)	小学校	中学校	高等学校	短期大学
17カ所	8園	8校	5校	3校	1校



# 1954 ~ 2020



教科「日本語」スタート



2015

教科「日本語」市立全小中学校で本格スタート▼森林基幹道九千部山横断線開通

藤木遺跡から青銅器(銅釘)の石製鑄型が全国初出土▼鳥栖市学校給食センター完成

九州国際重粒子線がん治療センター開設▼久光製薬スプリングスが女子バレーボール史上初の5冠達成

まちづくり推進センター開所▼ドイツ・ツァイツ市と「友好交流都市協定」を締結▼鳥栖市の人口が7万人を突破

九州新幹線鹿児島ルート全線開通、新鳥栖駅開業▼サガン鳥栖がJ1昇格▼鳥栖西部第二工業用地の分譲を開始



鳥栖スタジアム落成

市の鳥「メジロ」制定▼サッカークラブ・PJMフューチャーズが鳥栖市に移転

鳥栖駅東西連絡通路「虹の橋」開通▼「鳥栖スタジアム」が完成、こけら落としに約2万人が来場

熊本地震発生、被災地へ職員を短期派遣

平成28年  
(2016)

平成27年  
(2015)

平成26年  
(2014)

平成25年  
(2013)

平成24年  
(2012)

平成23年  
(2011)

平成17年  
(2005)

平成15年  
(2003)

平成13年  
(2001)

平成29年  
(2017)

鳥栖市と吉野ケ里町、基山町、上峰町、みやき町の1市4町で、マイナンバーカードを利用した各種証明書のコンビニ交付を開始



証明書のコンビニ交付開始

2011



新鳥栖駅を出発した一番列車

弥生が丘小学校新設開校

平成20年  
(2008)

第6代市長に橋本康志氏

平成19年  
(2007)

勝尾城筑紫氏遺跡が国史跡に指定▼佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター開設▼グリーン・ロジスティクス・パーク鳥栖の分譲開始▼鳥栖貨物ターミナル駅完成

平成18年  
(2006)



グリーン・ロジスティクス・パーク鳥栖分譲開始

2006

福岡県西方沖地震発生、鳥栖市は震度5弱を観測

平成16年  
(2004)

鳥栖プレミアム・アウトレットが開業

鳥栖商業高校野球部が、夏の甲子園で県勢としては9年ぶり3回目のベスト8進出

平成11年  
(2001)

鳥栖ジャンクシオンに高架橋「サガングロス橋」完成

平成10年  
(1998)

鳥栖北部丘陵新都市「弥生が丘」の住宅分譲開始

平成9年  
(1997)

フューチャーズが解散、「サガン鳥栖FC」発足▼鳥栖北部丘陵新都市(産業用地)の分譲開始

平成8年  
(1996)

平成6年  
(1994)

第5代市長に牟田秀敏氏▼鳥栖市の人口が6万人を突破

## 行政

鳥栖市は、行政が市民の皆さんと一緒に考えながらまちづくりを実践することで、市民が誇りと愛着を持つことができる魅力あるまちをつくっていくことを目指しています。これからも効率的で迅速な行政の遂行に努め、信頼される市役所となるよう、市民の皆さんと力を合わせ「住んでみたい」「住んでよかった」「住み続けたい」と感じられるまちをつくっていきます。



※鳥栖市は新庁舎建設の計画を進めております。

# 市民の声を市政へ生かす

## 議会

鳥栖市議会は、定数22人の議員で構成され、市民の代表として皆さんの「声」を市政に反映させています。議会には3つの常任委員会を設け、条例や予算、請願などの審査や調査を行い、「声」に応えるための活動を行っています。また「市議会だより-とすきっぷ-」の発行やケーブルテレビとインターネットによる市議会の中継を実施するなど、市民の皆さんに分かりやすく開かれた議会となるように心掛けています。



## 移住者に聞いた！

# 鳥栖市の魅力 ✨



**山田 裕子**さん (会社員)

鳥栖は「ノンストレスな街」です。通勤・子育て・生活環境と、すべてが「ちょうどいい」。むしろ恵まれた環境だと思います。近所には子育て世代が多いので、子どもたちは友達も多く、通学面も安心で、子育てにはいい環境です。交通の便もよく、お出かけの選択肢も広がります。

夫・長女・次女の4人家族。結婚を機に職場がある福岡市から佐賀市に移住。その後、長女を妊娠の際に通勤の便を考え鳥栖市に移住。

利便性と自然の豊かさのバランスが良く「イイところ取り」ができる街だなとすごく感じます。

また、交通の要衝でもあり多くの人が入り出る鳥栖は、いろんな人や文化、情報が集まりやすい街だと感じます。鳥栖でしかできないような素晴らしい出会いや発見があるのも魅力です。

東京都出身。鳥栖に移住後、空き家に古民家カフェをオープン。現在は飲食店のオーナーなどを務めながら、地域活性化の事業を手がけている。



**関 正峰**さん (多国籍料理店・米粉スイーツ専門店オーナー)

四季を感じられる豊かな自然に満足しています。遊びに来た友人が目の前に広がる桜の美しさに感動していました。便利なだけでなく、コンパクトで街と自然の距離が近いことも魅力だと思います。また、近所の人から声をかけてもらうなど人とのつながりもあり安心感があります。

鳥取県出身。広島や関東で生活後、友人の紹介で鳥栖の空き家をリフォームし移住。



**西山 泰世**さん (フリーランス通訳)

「都会の便利な部分があって、悪い部分は少ない街」です。交通の便が良く、どこに出かけるにしても不自由しません。人が集まる場所もあって、街に活気があります。一方で、治安も都市部に比べて良く、住宅街は本当に静かです。それに「鳥栖」の知名度が全国的にも高いところも魅力です。

日本人とフランス人の夫婦。結婚を機に鳥栖市へ移住。自ら事業を起こしたいとの思いから夫婦で会社を辞め、鳥栖市内で起業した。



**安武 祥太**さん・**マリ**さん (オリジナルバッグ販売)



2020鳥栖市勢要覧

編集・発行 鳥栖市企画政策部情報政策課

〒841-8511佐賀県鳥栖市宿町1118番地

TEL0942-85-3513/FAX0942-82-1994

<https://www.city.tosu.lg.jp/>

令和2年3月発行